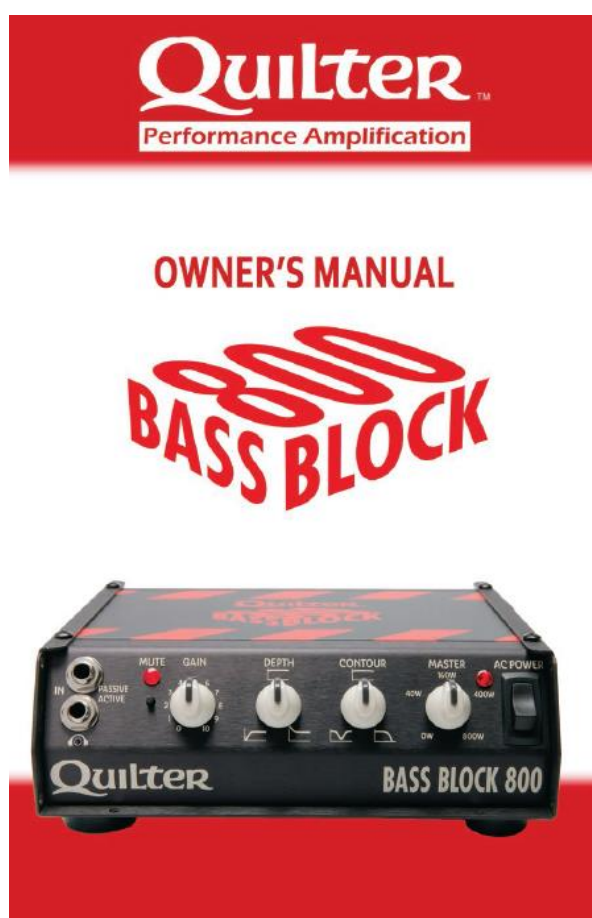


THE QUILTER 201 Tone Block

取扱説明書 Ver1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL: 0476(89)1111 FAX: 0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

安全上の注意	3
EMC/EMI 準拠	3
はじめに	4
製品仕様	4
開梱	5
各部の名称	6
フロントパネル	6
サーマルセンサーとファンコントロール	7
リアパネル	8
電源コネクタ	8
スピーカー接続端子	8
オプション	9
メンテナンス	9

安全上の注意



このラベルがある部分には手を触れないでください。感電の恐れがあります。



このラベルがある部分の操作、メンテナンスを行う場合は関連するマニュアルをお読みください。

1. 感電防止のため、カバーを開けないでください。
2. 本製品に液体がかからないよう、また雨中や湿度の高い場所で使用しないでください。
3. 通気口の前に設置しないでください。
4. ヒーター、ストーブなど、高温になる物の近くに設置しないでください。
5. アースピンをカットするなど、電源プラグを改造して接続しないでください。
6. 電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
7. 付属品やアクセサリはメーカーから提供される物をお使いください。
8. 落雷の危険性がある場合や、長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
9. 本製品を廃棄する場合は、その市町村のルールに従ってください。
10. 通気性の良い場所に設置してください。
11. 本体を拭くときは乾いた布を使用してください。

EMC/EMI 準拠

注意：この製品は FCC 規則第 15 部に準拠しており、Class B digital device に認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別系統のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

はじめに

この度は、QUILTER Bass Block 800 をご購入いただき、誠にありがとうございます。Bass Block 800 は、モダン・ベーシストのために開発されたハイパワー・ベースアンプです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

製品仕様

出力	450W 8 Ω 、800W 4 Ω
電源	AC100V 50 – 60Hz
消費電力	1000W 最大
入力	PASSIVE:モノラルフォン端子(フルゲイン)、2M ACTIVE:モノラルフォン端子(-10dB)、30K ライン入力:XLR 端子、10kバランス、1V フルスケール
ライン出力	XLR 端子、疑似バランス、1V フルスケール
スピーカー出力	4 – 8 Ω 、90V、25A ピーク
ヘッドホン出力	ステレオミニ端子、20 Ω 、2V ピーク
寸法	218mm 幅×190mm 奥行き×76mm 高さ
重量	2kg

開梱

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

1. QUILTER Bass Block 800 Amplifier 本体
2. 電源ケーブル
3. 取扱説明書（本書）
4. 本体カバー

輸送時の破損がないことを確認してください。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元に連絡ください。

製品の外箱と梱包材は保管しておいてください。輸送時に破損が生じた場合の証明として必要となることがあります。

各部の名称



フロントパネル

1. **ACTIVE IN** : アクティブ・ベース用入力端子。
2. **PASSIVE IN** : パッシブ・ベース用入力端子。ゲイン : -10dB
3. **MUTE** : 入力信号をミュートします。ボタン上の赤 **LED** が点灯します。
4. **GAIN** : 全体のボリュームとベースの感度を調整します。ピークにおける歪みを防止し、効果的でスムーズに働くリミッターを搭載しています。リミッターは演奏スタイルとピックアップボリュームに応じて、かかり方が変わります。**GAIN** を調整してスイートスポットを決めたら全体のボリュームと **MASTER** コントロールで調整します。
5. **DEPTH** : このコントロールは低域のブースト/カットを行います。低域をブーストすると深い丸みのある音になります。リミッターがかかるとオーバートーンと高音がベース音に重なり、ボトムアウトせずにダイナミック感とアタック感を残します。
6. **CONTOUR** : 高音域とハーモニクスは 2 つの異なる方向につまみを回して音質を調整します。左に回すとはっきりとした際立ちのある音になり、右に回すと徐々に高域を減らし丸みのあるヴィンテージ・トーンを作ります。
7. **MASTER** : アンプ出力をスピーカー許容入力に合わせます。
トーンを決めたら **MASTER** つまみを回して、スピーカー許容入力に合わせた出力レベルへ調整します。出力表示 **W** はガイダンス的なものです。もしポップノイズやスピーカーのオーバーロードを表す兆候が現れたら、**MASTER** を絞ってください。

このように広いレンジのスピーカーにマッチするようにアンプを調整することができます。最大パワーは 800W/4Ω、ゲインを十分上げて、リミッターが働いてもフルパワーの 80%を出力することができます。もし、1 台のスピーカーで満足するベースサウンドが得られない場合、スピーカーを追加することを検討してください。

8. HEADPHONE：ヘッドホン用ステレオミニ端子です。スピーカーは取り外してください。音量は 50%以下に絞って使用してください。

サーマルセンサーとファンコントロール

本機にはサーマルセンサーが内蔵されていて内部の温度をモニターしています。ハイパワーで演奏し続けるとアンプ内部の温度が上昇し、冷却効率を高めようとファンスピードが徐々に上がります。もし温度が上がり続ける場合、アンプは自動的にボリュームを下げます。このとき POWER LED (⑧) が点滅します。温度上昇を避けるために、壁などから距離をおき、換気の良い場所に設置してください。

リアパネル

電源コネクター



付属の電源ケーブルを接続します。感電を防止するため、アース線は必ずアース端子に接続してください。

スピーカー接続端子



モノラルフォン端子 x 2 とスピコン x 1 が用意されています。4・8Ωのスピーカーが最適です。16Ωのスピーカーを接続すると、出力が低下します。4Ω以下のインピーダンスの場合、ハードに使用するとサーマルセンサーが働くことがあります。

LINE IN : XLR バランス端子です。信号はアンプ内部 **MASTER** コントロールの前に入力されます。プリアンプ **EQ** とリミッターはバイパスされます。サーマルリミットとショート保護回路は機能します。

LINE OUT : XLR バランス端子です。パワーアンプ、パワードスピーカー、他の音響機器に接続します。

オプション

Quilter Labs 専用キャリングケース（付属）を使用すると、Quilter 製品を収納して安全に持ち運ぶことができます。



メンテナンス

症状	原因と対策
電源が入らない	電源ケーブルがしっかりとコンセントに接続されているか チェックする
アンプの電源が落ちて直ぐに立ち上がる。	アンプが過熱しサーマルプロテクションが働いた可能性がある MASTER ボリュームを 30%まで下げる 直射日光を避けて設置する 壁や他の機材と十分な距離を置いて設置する
音が出ない	MASTER ボリュームと GAIN がゼロになっていない ことを確認する ギターケーブルがアンプとギター両端にしっかりと接続 されているか確認する ギターケーブルを交換してみる スピーカーケーブルがスピーカー端子にしっかりと接続 されているか確認する

音が低い、または変動する	ペダルとアンプと切り分けるため、FX Loop に接続したペダルを取り外し、ギターを直接アンプに接続する ペダルの接続、電源、バッテリーをチェックする
バックグラウンド・ハムノイズが出る	ギターケーブルがしっかりと接続されているかチェックする ギターケーブルを交換する。シールドケーブルを使用する アンプ、ペダルは同じコンセントに接続する ギターのボリュームをゼロにするとハムノイズが消える場合、シングルコイルピックアップは特に調光式ライト、ネオンライトなどのハムノイズを拾いやすい 「フェーズスイッチ」ピックアップ・セレクターがある場合、それを試してみる ギター・シールドをチェックする 弱いブーンという音がでる場合、アースが接続されていない可能性がある。必ずアースを接続する
過度のノイズ	GAIN の上げ過ぎ。 ケーブル、ギター、ペダルなどの接続をチェックする 繰り返し発生するノイズはスマートフォンから出ている可能性がある。スマートフォンをアンプやギターから遠ざける
アンプの音がどの音量でも歪む。	ヘッドホンで聴いたときに問題なければスピーカーの可能性もある MASTER ボリュームを下げる エフェクトループに接続されている機材を外してギターを直接アンプに接続する
クリーントーンが欲しいのに過剰なオーバードライブが出る	GAIN を下げて MASTER を上げる JAZZ や SURF ボイスを試してみる

次の事象が発生した場合はコンセントから電源ケーブルを抜いて直ちに販売代理店にご相談ください。

- アンプ、または電源ケーブルから煙りが出た
- アンプを誤って落としてしまった
- アンプに液体をこぼしてしまった
- アンプ内部の部品が外れたような音がする



Quilter
Performance Amplification
P/N 000734 Rev. A